

所信表明 (第4回熊野町議会定例会における町長の所信表明の概要を) お知らせします。(政策企画課)

町民の皆様が、この町に住んでいることや、出身であることを誇りに思い、また、訪れる人をも魅了する、美しく成熟した『くまの』を、町民の皆様や議員各位とともに創るため、私は、三つの視点に立って、町政の舵取りを行います。

三世代が輝く暮らしを育む『くまの』づくり

●シニア世代の社会参加・協働のまちづくり

本町は、今後、急速に高齢化が進む見込みですが、高齢化を肯定的にとらえ、これからの町づくりを担う人的資源が豊富であることを「強み」とした「くまの」づくりを進めます。

このため、シニア世代の社会参加を促す環境づくりや、地域活動・ボランティア活動への支援を行うとともに、町民の皆様と行政との協働によるまちづくりを推進します。

●少子化への対応

町の未来を託す子どもたちは、町の発展の基礎であり、安心して子育てができる環境づくりに取り組めます。

●教育の充実

多様な教育を通じ、町民が誇りを持ち、生き甲斐ある人生が送れるまちづくりを推進します。このため、学校教育では、新学習指導要領への移行を適切に行うとともに、子どもたちに確かな学力や豊かな心、健やかな体などの「生きる力」を育む教育を実践します。

公民館や図書館での生涯学習の推進、NPO活動と連携した生涯スポーツの振興などにも取り組みます。

活力を育み、地域力を高める『くまの』づくり

●県道の整備促進

本町は、広島市、呉市、東広島市の中央に位置する道路交通の要衝にあり、県道矢野安浦線は、今後、東広島・呉自動車道の整備の進捗と共に、幹線道路としての役割が、さらに高まることが予想されるため、国・県に対し、町内のバイパスや、黒瀬町と結ぶトンネルの整備促進の働きかけを強く行います。

●生活基盤の整備

生活道路の整備や維持管理を計画的に行うとともに、バス路線の維持を始めとする生活交通対策にも取り組むなど、生活基盤の整備に力を注ぎます。

上水道事業は、高所団地への給水事業や未給水地域の解消に積極的に取り組むとともに、下水道事業も計画的に推進し、快適な都市基盤づくりに努めます。

●自然との共生

豊富な自然を、町民共有の財産として地域で活かす取組みを進めるとともに、山林への不法投棄の防止やごみを減量化する施策などを講じ、環境の保全にも努めます。

筆産地の歴史と文化を未来につなぐ『くまの』づくり

●筆文化の振興と情報発信

熊野筆は、本町固有の地域資源であり、日本一の筆の産地であることを活かし、賑わいづくりや交流人口の拡大に努めます。

このため、文化人により結成された「応援団」の輪を広げていくとともに、筆文化の発信拠点である筆の里工房の機能をさらに高めます。昨年9月に「筆の日」と定められた「春分の日」が「秋分の日」の「筆まつり」とともに、本町の二大イベントとして定着するよう、支援を行います。

全国書画展覧会や各種文化活動の振興にも努め、筆文化の魅力と歴史を全国に情報発信します。

●筆職人の後継者育成

平成18年度から取り組んできた「筆職人後継者育成事業」は、熊野筆事業協同組合を始めとする関係者と協議し、今後の後継者育成の在り方を検討します。

政策の実現に向けて

景気の状態がさらに厳しさを増す中で、こうした政策を実現するためには、より一層の行財政改革に努め、健全な財政を維持していく必要があります。

このため、財政計画との整合性に留意しながら施策・事業を推進するとともに、行政評価システムや公会計制度の導入に努めます。

歴史ある熊野町を、次世代に確かに引き継ぐため、町民の皆様や議員各位とともに、新しいまちづくりの実現に向けて、誠心誠意努力します。



新年のご挨拶



12月2日(火)、三村裕史町長が初登庁し、職員から花束を受け取りました。

新年明けましておめでとうございませす。皆様には、健やかに新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

さて、私は、昨年十一月の町長選挙におきまして、多くの町民の皆様のご支援をいただき、町政運営の重責を担うことになりました。今、改めてその職責の重大さを痛感し、町民の皆様福祉向上に全力を注ぐことを心に誓っております。

今回の選挙活動を通じ、私は、前平本町政の継承と発展をお約束しました。前町長が目指した「三世代が住みよい緑の生活創造都市づくり」に向けた基盤づくりを継承し、さらに発展させることが、私に課せられた使命であると考え、都市機能の整備、安心・安全の確保、健康づくりや福祉施策の推進、学校教育・生涯学習の充実、筆文化の継承や、筆産業等の振興など、町を将来にわたり持続的に発展させる基盤づくりに取り組んで参ります。

また、少子高齢化が進む中、高齢者は豊かな経験と知識を持つ人材であり、子どもたちはまちづくりの未来を託す大切な人材であることを基本に、人的資源を本町の強みとし、町民、議会、行政が一体となって、これからのまちづくりを推進していきたいと考えております。

皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして、ご健康で実り多き年でありまことを心から祈りいたします。

平成二十一年元旦 熊野町長 三村 裕史

熊野町長選挙結果報告

熊野町選挙管理委員会 ☎820 - 5 6 0 1

11月30日(日)に執行された熊野町長選挙の結果は、次のとおりです。

開票結果一覧表

▽選挙当日有権者数：20,690人

▽投票者数：12,657人

▽投票率：61.17%

▽有効投票数：12,571票

▽無効投票数：86票

	候補者氏名	性別	年齢	党派	新現元	得票数
当	みむら ひろし 三村 裕史	男	56歳	無所属	新	8,378票
	おおせど こうき 大瀬戸宏樹	男	49歳	無所属	新	4,193票

定数1人(敬称略)